

村田きょうこ マンスリーレポート

<2023年3月号号外>



皆さん、ご安全に！村田きょうこです。

3月9日（木）今国会初の質疑を経済産業委員会で行いました。

「日本経済とものづくり」「構造的な賃上げと人材の定着」「特別高圧」を質しました。



1. 日本経済とものづくり産業について

【課題認識】

- ・この20年間、日本の「稼ぐ力」が低下し、経済力ばかりか海外からの資源輸入時の交渉力にも影響が出始めている。

村田：日本のものづくり産業に対する、経済産業省のスタンスは？

山下政府参考人：全就業人口の約2割を占め、一人当たり付加価値額が全産業平均の約1.3倍ある、我が国経済を支える極めて重要なセクターである。

村田：そのものづくり産業が発展していくためには、何が必要と考えているか？

西村大臣：生産性の向上や脱炭素化、サプライチェーンの強靱化、国内生産基盤の強化などの取り組みを通じて、ものづくり産業がさらにイノベーションを起こし、世界をリードしていける存在であり続けるように、しっかりと支援していく。

村田：「スペースジェット」の開発断念に対する政府の受け止めは？

山下政府参考人：機体開発、人材育成も含め我が国の航空機開発の技術、能力の向上に寄与したと考えている。この経験を今後の航空機産業の発展につなげていくことが重要と考える。



2. 構造的な賃上げと人材の定着について

【課題認識】

- ・政府が進めている新しい資本主義の中で、構造的な賃上げという考え方が出ているが、具体的な内容が明らかではない。
- ・2016年のものづくり白書では、人材が定着することで技術が向上し、労働生産性を高めることにつながると紹介されているが、直近のものづくり白書には、「人材の定着」という言葉が出てこない。

村田：構造的な賃上げの趣旨は？

飯田政府参考人：デジタル化や脱炭素化の進展によって産業構造が転換していく中、これを支える人材の育成、確保が重要になる。新たなスキルの獲得を後押しするリスキリングの支援、労働移動を同時に進め、構造的な賃上げにつなげていきたい。

村田：政府がリスキリングの方向性や成長分野を示していくことは想定していないのか？

飯田政府参考人：分野にかかわらず、希望する労働者が主体的にリスキリングや労働移動を実現できる環境整備が大前提。個人が選べることを基本にしながら、中身については検討していきたい。

村田：高度熟練技術の習得には人材の定着が大切である。また、この技術は各企業が独自に培っているためリスキリングはなじまないと思うがどうか。

山下政府参考人：ものづくり産業が競争力を維持するために、熟練技能者の育成や技能継承は極めて重要。現場の熟練した技能と近年の技術の潮流をうまく組み合わせることで、日本の強さである現場力の更なる向上に取り組んでいく。

村田：構造的な賃上げがなじむ職種となじまない職種で賃金の格差が起こることを懸念している。

西村大臣：欧米に比べ日本の所得が低くなっていることを踏まえ、多くの方のレベルが上がっていくためのリスキリング、学びなおしを進めていきたい。

村田：企業規模に関係なく、人が入ってこない、すぐにやめてしまうことで、技術継承ができない。ものづくりにおける人材確保について、どう考えるか。

原口政府参考人：厚生労働省として、ものづくり分野の魅力アピールのための技能五輪全国大会の開催や、指導経験豊富な方による実技指導を行う等の取り組みを進めている。



3. 特別高圧支援について

【課題認識】

- ・全国を回った際、労使双方の方から特別高圧への支援を望む声を多く受けている。
- ・基幹労連が実施したアンケートでも、半数でエネルギーコストが2倍になっているが、価格転嫁が一部でもできた企業は3割にも満たない。

村田：電気料金高騰による、特別高圧契約企業への影響について把握しているか？

松山政府参考人：昨年11月の最新データでは、半年間に電気料金は約34%上昇している。一般論でいえば、中小企業のエネルギーコスト転嫁率は約3割と承知しており、ものづくりの現場や企業には負担が大きいのしかかっていると認識している。

村田：九州電力管内では、産業用電力料金の値上げ要請が来ているとのこと。国による特別高圧への支援をお願いします。

松山政府参考人：需要家支援と供給側の電気料金を下げる対策とを、重層的に講じて
いきたいと考えている。先月、総理から電力料金の抑制に向けた取り組みなどについて3月中に検討結果をまとめるよう指示があり、検討を進めていきたい。

今号は以上です。